

## 秋田市一般廃棄物処理基本計画の素案について(概要)

計画の位置付け	この計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき策定するものであり、秋田市総合計画「県都『あきた』成長プラン」および秋田市環境基本計画を上位計画とし、ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画で構成します。			
策定の背景	平成18年度に策定した「秋田市一般廃棄物処理基本計画」は、27年度を計画の最終年度としていましたが、25年度に家庭ごみ一人1日当たりの排出量について、減量目標を達成したことや、国が「第3次循環型社会形成推進基本計画」で今後の循環型社会形成の方針を示したことなどから、本市においても新たな目標値の設定や方向性を示すこととします。			
新たな視点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2R「発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)」の推進</li> <li>2 資源化物等を含めたごみ全体の排出抑制</li> <li>3 廃棄物処理施設の整備計画</li> <li>4 廃棄物を資源として循環利用する循環産業の活用を推進</li> </ol>			
数値目標	項 目	現計画	平成25年度実績	新計画
	計画期間	平成19年度 ∩ 平成27年度	平成25年4月 ∩ 平成26年3月	平成27年度 ∩ 平成37年度
	【新】 一人1日当たりのごみ排出量 (事業系、資源化物を含み、公共系、民間施設搬入分を除く)	目標値なし	1,084g	約980g
	一人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源化物を除く)	556g	527g	約480g
	事業系ごみ排出量(資源化物を除く)	41,767t	45,559t	約41,000t
リサイクル率(資源化率)	38.0%	32.1%	約38.0%	
取組指標	最終処分量(公共系等を除く)	2,079t	3,375t	約10%削減(平成25年度比)
廃棄物処理施設の整備計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 溶融施設は、おおむね10年毎に大規模改修を実施し、平成44年度に更新予定</li> <li>2 リサイクルプラザは、平成35年度に更新予定</li> <li>3 第2リサイクルプラザは、平成30年度に大規模改修を実施予定</li> <li>4 最終処分場は、平成30年度に大規模改修を実施予定(排水処理施設)</li> </ol>			
策定までのスケジュール	<p>7月9日 第1回秋田市廃棄物減量等推進審議会(意見聴取)</p> <p>10月9日 第2回秋田市廃棄物減量等推進審議会(素案提出)</p> <p>10月中旬～11月中旬 パブリックコメント実施</p> <p>12月 市議会建設委員会(計画案説明)</p> <p>1月 第3回秋田市廃棄物減量等推進審議会(成案提出)</p> <p>3月 計画完成(告示)</p>			